

精神科看護師の365日

平成25年度の日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.3

中堅ナースの1日

名寄市立総合病院精神科リハビリテーション室 精神科訪問看護担当
鈴木敦子さん(39歳・精神科看護歴6年)の場合



訪問はブルーの車で。担当区域は広く、片道2時間かかることも。

訪問看護の専任者として、日々訪問しています。北海道内には訪問看護ステーションが身近にない地域もあり、120km先まで行くことも珍しくありません。

やりがいや励みになること

精神科訪問看護の魅力は、利用者さんの実際の生活の場に伺えることです。暮らしのなかには、その方の関心事や“力のもと”を知るためのヒントが満載です。できていることを認め、励まし続けることで、利用者さんから「本当はこんなことがしてみたい」と伺えたときは感動します。以前、自信を失い自閉的な生活をされていた利用者さんが「パソコンをやってみたい」とおっしゃるのを聞き、職場の許可を得てノートパソコンをおもちしました。一緒にキーを叩きながら操作方法をお伝えしたところ、パソコンを通して自信を取り戻され、ついには一般就労を始めるほどの変化を遂げられました。

精神科看護師になったきっかけ

総 合病院に新卒で就職し、一般科で勤務後、精神科閉鎖病棟に異動になった際、精神科看護のやりがい、楽しさ、難しさを知ることができました。大学に勤務した後、専業主婦として子育てに専念していたころ、勤務していた病院で精神科訪問看護を始めることになり、声をかけていただきました。週3日のパートから始め、4年目となった現在はフルタイムで勤務しています。

現在の仕事内容

総 合病院内に設置された精神科リハビリテーション室に所属し、多職種10人でチームを組んで精神科の地域支援に携わっています。チームの中で私は精神科

鈴木さんの

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤、ミーティング
- 8:30 訪問予定者を電子カルテで状況チェック、オーダーリング
通院日の利用者さんと外来でコミュニケーション
- 10:00 訪問 (A町 ご本人)
- 11:00 訪問 (A町 ご本人)
- 11:30 訪問 (A町 ご本人、ご家族)
- 12:00 デイケアに通所中の利用者さんとコミュニケーション
- 12:30 昼食
- 14:00 訪問 (B市 ご本人、ご家族)
- 15:00 訪問 (B市 ご本人)
- 16:00 訪問記録、病院内外の関係者への連絡・報告

今後の目標

今年、精神科訪問看護領域の精神科認定看護師を取得しました。名寄市が安心して生活できる地域になるように貢献していきたいです。